

宇都宮市立横川中央小学校（第４・５学年共通）
学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
家庭学習の習慣化に向けた指導の工夫	年度初め４月に、家庭学習に関する保護者あて通知をするなど、家庭・保護者と連携をとりながら、家庭学習・自主学習への理解・協力を呼び掛けることで、基礎・基本の着実な定着に向けた指導を行っている。	４・５年生ともに、「家で学校の宿題をしている」に肯定的に回答した児童の割合は９５％以上だが、自ら取り組む態度に関わる「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」は５年生は８０％を超えたものの、４年生は７０％未満である。
授業におけるめあてとまとめ・振り返りの充実	授業の最初に本時のめあて、最後にまとめを板書して確認することで、児童一人一人が本時の学習内容振り返る時間を設けるようにしている。	「授業の最後に学習したことを振り返る活動をよく行っている」の項目は、４年生では県より０．１ポイント低く、５年生は７．３ポイント低い。
話し合い活動の充実	話し合い活動に使う話し方の例を学校で統一を図るようにすることで、各学年・各クラスの実態に応じた話し合い活動を行い、対話を中心とした深い学びや広い学びを進めることができるよう指導している。	「グループなどの話し合いに自分から進んで参加している」の項目は、県ではＡＤ層の差が４年生で１６．４ポイント、５年生で１４．２ポイント開いているが、本校では４年生で２５．０ポイント、５年生で２０．０ポイント開いている。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
教科に関する調査から、基本的な知識や技能に関わる問題では、ほぼ県平均よりも上回っているが、活用の問題の中には、下回ってしまっているものがいくつかあった。	復習により定着を図る学習の充実	各単元の結末を中心に、学習内容のまとめや復習を繰り返し行うとともに、学期末には、複数単元の内容をまとめて復習することで、各単元の内容を着実に身に付けることができるようにする。また、各単元の始めには、今までの学習内容を復習する機会を設定することで、着実な定着を図ることができるようにする。